建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	令和5年 1月 23日
住所(法人にあっては,主たる事務所の所在地)	氏名(法人にあっては,名称及び代表名)
京都府船井郡	社会福祉法人 山彦会
京丹波町三ノ宮小谷30番地	理事長 櫻井博規

京都市地球温暖化対策条例 ☑第49条第1項 □第49条第3項								
□第52条第1項 □第52条第2項において準用する同条例第49条第3項						7. 阿笠 4.0 冬笠 9. 百		
の規定	どにより提出し	ます。		2余5	君2頃にわい(华)	円 9 4	も旧分	号例 弟 4 9 余 弟 3 頃
工事	の 種 別				Ę			増築
工事着	工予定年月日				令和5年	4.	月	20日
工事完	了予定年月日				令和6年	1.	月	15日
	名 称		(仮称)『京・みやこ』幼老複合施設;交番新築工事					
建築物の概要	所 在 地	京都市下京区西七条八幡町31番地、名倉町4番地1						
	構造		RC造		階	数	地。	上 5 階 地 下 - 階
	敷地面積		223 平方メー	2.19トル	高	さ		20.17メートル
	建築面積		115 平方メー	3.72	床 面 積 の 合 (1棟増築の場合の 増築部分の床面を	り	(4425.38 平方メートル 平方メートル)
	用途別の床面積	住		宅				平方メートル
		ホ	テル	等				
		病	院	等			4	4102.04平方メートル
		物品 店舗	販売業を 等	営む				
		事	務 所	等				71.88平方メートル
		学	校	等				251.46平方メートル
		飲	食 店	等				
		集	会 所	等				
		エ	場	等				
建築環境総合性能評価システムによる評 価の結果			B E E = 1. 2	(ラ)	/ク)	B+		
設計者の住所及び氏名の公表について			☑ 公表可					

	を効果ガスの排出の量の削減を図るた こ実施する措置	概 要
Ø	外壁,屋根又は床の断熱	天井裏:GW、天井裏スラブ下:現場発泡ウレタン吹付外壁:現場発泡ウレタン 外壁:現場発泡ウレタン 床下:押出ポリスチレンボード
V	窓の断熱又は日射の遮蔽	複層ガラスを採用
Ø	エネルギー消費効率の高い設備の 導入	LED照明設備の他、高効率設備の採用
Ø	再生可能エネルギーの利用	太陽光発電設備を導入
Ø	環境への負荷が少ない材料の利用	内装材にF☆☆☆☆を採用
V	地域産木材の利用	内装材、外装材、構造材に使用
Ø	節 水 型 設 備 の 設 置	省水型便器、自動水栓、泡沫水栓等採用
	雨水,雑排水等の利用	
Ø	耐用年数が長い材料及び設備の 利用	耐用年数の長い配管材を採用
	建築物の維持管理の容易性に対す る配慮	
Ø	緑化の実施	敷地内緑化、屋上緑化を計画
	電気自動車等の充電設備の設置	
	宅配ボックスの設置	
	代替フロン由来の温室効果ガス 排出削減	
	そ の 他	

- 注1 該当する□には、レ印を記入してください。
 - 2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。
 - 3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)